

参考資料

平成29年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
教 育 局

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区分	平成29年度	平成28年度	伸び率
予算総額	433,595,477千円	481,019,621千円	△9.9%
一般会計構成比	23.3%	25.6%	—

【埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計】

予算総額	618,467千円	566,065千円	9.3%
------	-----------	-----------	------

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 確かな学力と自立する力の育成

(1) 一人一人を確実に伸ばす教育の推進

P 1 学力・学習状況調査実施事業【義務教育指導課】 215,560

(2) 確かな学力の育成

P 2 未来を拓く「学び」プロジェクト【高校教育指導課】 11,940

近未来学校教育創造プロジェクト【高校教育指導課】 3,084

P 3 新規 次世代リーダーとキーパーソンのための学力向上さきがけプロジェクト
【高校教育指導課】 8,762

骨太のリーダーを育成する高校生のための埼玉版リベラルアーツ事業
【高校教育指導課】 2,420

課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン
【高校教育指導課】 44,389

P 1 学力・学習状況調査実施事業【義務教育指導課】 215,560 (再掲)

P 4 埼玉県学力・学習状況調査のデータ活用事業
【義務教育指導課】 7,323

P 5 新規 「チーム埼玉」学力向上パワーアップ事業【義務教育指導課】 3,932

P 6 新規 「未来を生き抜く人財育成」学力保障スクラム事業
【義務教育指導課】 5,000

(3) 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進

P 7 世界を動かせ！グローバルリーダー育成プロジェクト
【高校教育指導課】 31,627

P 8 新規 持続可能な社会を生きるグローバル人材育成事業
【高校教育指導課】 1,811

県立高校グローバル教育総合推進事業【高校教育指導課】 402,550

新規 次代に語り継がれるレガシー創出事業【義務教育指導課】 1,200

(4) 時代の変化に対応する教育の推進

P 9	新規	科学技術立県を支える次世代人材育成プロジェクト	【高校教育指導課】	4 1, 2 2 0
P 2		未来を拓く「学び」プロジェクト	【高校教育指導課】	1 1, 9 4 0 (再掲)
		近未来学校教育創造プロジェクト	【高校教育指導課】	3, 0 8 4 (再掲)
		「教育の情報化」基盤整備費	【高校教育指導課】	1, 1 1 3, 4 8 1

(5) キャリア教育・職業教育の推進

P 1 0	新規	次代を担う産業人材イノベーション事業	【高校教育指導課】	2 3, 5 0 8
P 1 1	新規	起業家精神育成事業	【高校教育指導課】	4, 2 6 2
P 9	新規	科学技術立県を支える次世代人材育成プロジェクト	【高校教育指導課】	4 1, 2 2 0 (再掲)
		県立高校プロフェッショナル育成推進事業	【高校教育指導課】	5 4, 3 2 5
		県立高校キャリア教育総合推進事業	【高校教育指導課】	2 2, 9 2 4
		定時制高校生のためのチャレンジ雇用推進事業	【高校教育指導課】	1, 8 9 6

(6) 幼児教育の推進

		保育教諭確保のための幼稚園教諭免許状取得支援事業	【家庭地域連携課】	4, 3 2 4
		幼少期教育充実事業	【家庭地域連携課】	7 9 2

(7) 特別支援教育の推進

P 1 2	一部新規	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業	【特別支援教育課】	6 6, 3 6 9
P 1 3		自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業	【特別支援教育課】	8 5, 6 2 4
		共生社会の形成に向けた特別支援教育推進事業	【特別支援教育課】	2 6, 2 0 3

2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進

		自分発見！高校生感動体験プログラム事業	【生徒指導課】	1 5, 7 9 5
		自立心をはぐくみ絆を深める道徳教育推進事業	【義務教育指導課】	2 0, 0 9 1
新規		青少年げんき・いきいき体験活動事業	【生涯学習文化財課】	2, 9 3 9

(2) いじめ・不登校・高校中途退学の防止

P 1 4		いじめ・不登校対策相談事業	【生徒指導課】	9 1 9, 9 1 6
P 1 5	新規	地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業	【生徒指導課】	5 3, 6 1 2
		ネット問題対策教育推進事業	【生徒指導課】	6, 0 5 2
		いじめ・非行防止学校支援推進事業	【生徒指導課】	2 1, 8 4 3
新規		教育支援センター機能強化等不登校対策推進モデル事業	【生徒指導課】	1 0, 9 6 4

(3) 生徒指導の充実

いじめ・非行防止学校支援推進事業【生徒指導課】 21,843 (再掲)

(4) 人権を尊重した教育の推進

人権教育推進事業【人権教育課】 3,908

人権感覚育成事業【人権教育課】 499

(5) 健康の保持・増進

がんの教育総合支援事業【保健体育課】 949

学校健康教育推進費【保健体育課】 423,035

(6) 体力の向上と学校体育活動の推進

P16 一部新規 運動部活動指導充実支援事業【保健体育課】 83,810

学校体育実技指導研修事業【保健体育課】 3,686

3 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

(1) 教職員の資質能力の向上

近未来学校教育創造プロジェクト【高校教育指導課】 3,084 (再掲)

埼玉ティーチャーズカレッジ連携事業【小中学校人事課】 11,769

新規 学校現場における業務改善加速事業【小中学校人事課】 9,000

(2) 学校の組織運営の改善と魅力ある県立高校づくり

P17 一部新規 魅力ある県立学校づくり推進費

【魅力ある高校づくり課・県立学校人事課】 1,785

P18 未来を拓く学校づくり推進事業【県立学校人事課】 2,557

P19 新規 コミュニティ・スクール導入等促進事業【小中学校人事課】 11,305

新規 学校現場における業務改善加速事業【小中学校人事課】 9,000 (再掲)

(3) 子供たちの安心・安全の確保

県立学校食堂兼合宿所等耐震化事業【財務課】 1,067,320

高校生自転車等交通事故防止対策事業【保健体育課】 4,304

(4) 学習環境の整備・充実

公立高等学校就学支援金事業【財務課】 12,068,487

埼玉県国公立高等学校等奨学のための給付金事業

【財務課】 1,439,380

P20 埼玉県高等学校等奨学金事業【財務課】 618,467

大学進学のための経済的支援制度を活用した高校生の進学支援事業

【財務課】 1,502

県立学校大規模改修費【財務課】 1,763,802

新規 誰もが学び活動できる教育環境整備推進事業

【財務課・高校教育指導課】 127,927

快適ハイスクール施設整備費【財務課】 1,453,881

教育環境整備基金積立金【財務課】 41,162

中学校夜間学級の設置促進事業【小中学校人事課】 500

4 家庭・地域の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

P 2 1 家庭教育支援推進事業【家庭地域連携課】 3, 4 9 9

(2) 地域の教育力の向上

放課後子供教室推進事業【家庭地域連携課】 3 1 3, 2 1 9

学校応援団推進事業【家庭地域連携課】 1 9, 2 2 1

P 2 2 生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト【生涯学習文化財課】 2, 8 2 2

P 1 8 未来を拓く学校づくり推進事業【県立学校人事課】 2, 5 5 7 (再掲)

P 1 9 新規 コミュニティ・スクール導入等促進事業【小中学校人事課】 1 1, 3 0 5 (再掲)

(3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

彩の国教育の日推進事業【家庭地域連携課】 1, 5 4 3

5 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進

(1) 学び合い共に支える社会を目指す生涯学習の推進

P 2 2 生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト【生涯学習文化財課】 2, 8 2 2 (再掲)

新規 県立図書館サービス充実・強化推進事業【生涯学習文化財課】 5, 8 9 9

県立図書館情報化推進事業【生涯学習文化財課】 1 7, 3 8 5

県立図書館再編整備事業【生涯学習文化財課・財務課】 5 4, 0 2 0

(2) 文化芸術の振興と伝統文化の継承

P 2 3 一部新規 オリパラおもてなしミュージアム【生涯学習文化財課】 1 2 7, 0 8 4

「一挙公開！よみがえる至宝－太平記絵巻の美－」

「来て、見て、触って！古墳の世界－豪族の時代－」

「サムライ体験in嵐山～城跡で武将と姫に大変身～」

「埼玉アート！北浦和から未来へ発信事業」

「発信!!「川の国」～水車と大模型に学ぶ川と人の暮らし」

「国指定天然記念物の魅力発信とジオパーク秩父の活用事業」

美術作品取得事業【生涯学習文化財課】 1 6, 2 4 7

埼玉県芸術文化祭開催費【生涯学習文化財課】 6, 4 2 3

文化遺産活用調査事業【生涯学習文化財課】 3, 9 0 9

文化財保護事業補助【生涯学習文化財課】 1 2 2, 3 8 5

III 教職員の定数

P 2 4

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減
条例定数	42, 478人	47, 399人	△4, 921人

学力・学習状況調査実施事業

担当 義務教育指導課

学力向上推進・学力調査担当

内線 6752

1 趣 旨

小・中学校における県独自の学力・学習状況調査を実施することで、児童生徒一人一人の学習内容の定着や学力の伸び、学習意欲等を把握する。

平成27年度調査からの結果を活用し、市町村への支援の充実を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 事業内容

(1) 「埼玉県学力・学習状況調査」の実施

ア 平成29年度調査

(ア) 調査対象 ・ 小学校第4学年～中学校第3学年

(イ) 調査内容

①教科に関する調査

・ 小学校第4～第6学年：国語、算数

・ 中学校第1学年：国語、数学

・ 中学校第2、3学年：国語、数学、英語

②質問紙調査

・ 学習に対する意識、生活の様子、
規律ある態度等

(ウ) 調査実施日

・ 平成29年4月13日（木）

(エ) 結果の公表

・ 県全体、市町村別の結果一覧を公表

イ 平成30年度調査

調査に向けての問題の作成・印刷等の準備を行う。

(2) 調査の特徴と効果

特 徴

- 児童生徒一人一人の「学習内容の定着状況」＋ 「学力の伸び」を把握
- 生活の状況や学習意欲など、子供の状況を多面的に把握

効 果

- 「学力の伸び」の把握
→ 学校・市町村の取組の成果を可視化、児童生徒の「学習意欲」の喚起
「学力の伸び」を踏まえた、学校・市町村の指導改善に向けたPDCAサイクルの定着
- 子供の状況を多面的に把握
→ 児童生徒一人一人に応じた指導の充実

3 平成29年度予算額 215,560千円

未来を拓く「学び」プロジェクト

担当 高校教育指導課 学びの改革担当
内線 6625

1 趣 旨

主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）を推進するために、県として全国に先駆けて取り組んでいる「協調学習」による授業改善を更に発展させる。

協調学習の効果を科学的根拠に基づき検証し、将来の埼玉県を担う、時代に応え未来を拓く人材を育成するとともに、全国をリードする課題解決モデルとして確立する。

2 事業内容

(1) 協調学習による授業改善

国や他県教育委員会等から注目を集めている本県の協調学習の取組を更に発展させるとともに、県の枠を超えた教員ネットワークを構築し、質の高い授業教材を共同開発する。

(2) 教科学力以外の強みや特徴の測定・分析

実社会で活躍するための汎用的な力を測定するテスト（評価テスト）を使用し、「協調学習」の授業実践における生徒の変容を定量的に確認、分析を行い、効果検証を実施する。



3 平成29年度予算額

11,940千円

次世代リーダーとキーパーソンのための 学力向上さきがけプロジェクト

担当 高校教育指導課

体験活動・キャリア教育推進担当

内線 7391

1 趣 旨

中堅校における様々な課題に対応していくため、指導方法の改善や生徒の目的意識の向上のための取組を実施する。

2 事業内容

(1) 次世代リーダー育成プログラム（5校）

大学入試改革への対応を見据え、学習コンテンツの活用等により、受け身の授業から、正確な読解力や論理的な記述力、表現力等を養う課題解決型の授業への改善に取り組む。

(2) キーパーソン育成プログラム（5校）

ア 授業評価・分析

各教員の授業について生徒からの評価を実施し、授業改善につなげる。

イ 教科指導力向上研修

教科指導のノウハウや最新の大学入試を踏まえた学習指導・進路指導を学ぶ研修への参加

(3) 『課題解決力』向上チャレンジプラン（10校）

ア 生徒の心に火をつけるキャリア教室の実施

生徒の学習意欲や進路に対する意識を高めるための対話型動機付けキャリア学習プログラムの実施

イ 経済団体と連携した組織力向上研修の実施

生徒の進路が多様な学校において、教員に民間企業の課題解決のノウハウを研修させ、目標を明確にし組織的に解決する体制づくりに生かす。

3 平成29年度予算額 8,762千円

埼玉県学力・学習状況調査のデータ活用事業

担当 義務教育指導課

学力向上推進・学力調査担当

内線 6781

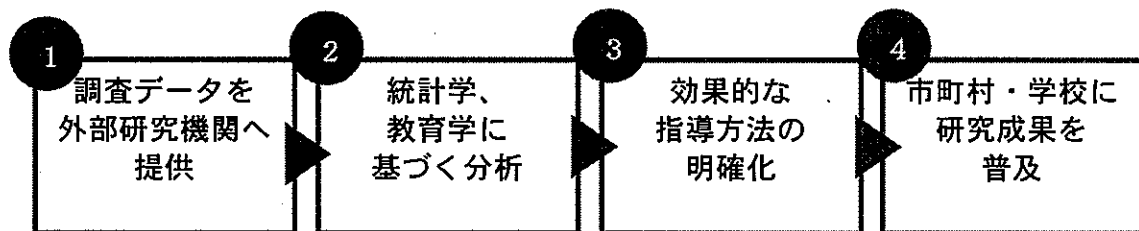
1 趣 旨

埼玉県学力・学習状況調査のデータを活用し、指導と学力の関係等を研究機関に委託して分析することにより、学力向上に効果的な指導方法を明らかにし、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 事業内容

・研究機関への委託

埼玉県学力・学習状況調査のデータを外部研究機関に提供し、28年度の分析結果と児童生徒の2年間分の学力の伸びを踏まえ、統計学や教育学に基づく更なる分析を行う。分析により明らかになった効果的な指導方法を市町村・学校に普及し、指導改善を図る。



特 徴

科学的な根拠に基づく効果的な指導方法を明らかにすることにより、児童生徒の学力向上を図る。

3 平成29年度予算額

7,323千円

「チーム埼玉」学力向上パワーアップ事業

担当 義務教育指導課

学力向上推進・学力調査担当

内線 6747

1 趣 旨

市町村が学力向上に向けて自走する力を高めるため、県が学力向上プロジェクトチームを派遣し、支援する。

小・中学校が組織的に学習指導する力を高めるため、児童生徒の学習課題とそれに対する指導を学校全体で共有する「学習支援カルテ」の活用を促進する。

これらの取組により、児童生徒一人一人の学力を伸ばす教育を推進する。

2 事業内容

(1) 「学力向上プロジェクトチーム」による支援

県の指導主事等により編成した「学力向上プロジェクトチーム」が、直接、市町村や学校を訪問し、市町村教育委員会の職員、校長や教員、保護者などを対象とした研修会等の中で、県や全国の学力・学習状況調査を活用した学力向上策を指導・助言する。

【指導・助言例】

- 学習指導の改善
- 学校の組織運営の改善
- 家庭学習等の促進

(2) 「学習支援カルテ」活用の促進

児童生徒の学習内容の躓きやその解決方法を記録・整理する「学習支援カルテ」を学校で作成するための支援ソフトを開発し、教員同士が児童生徒の状況を共有し、組織的な指導につなげるよう支援する。

3 平成29年度予算額

3,932千円

「未来を生き抜く人財育成」学力保障スクラム事業

担当 義務教育指導課

学力向上推進・学力調査担当

内線 6747

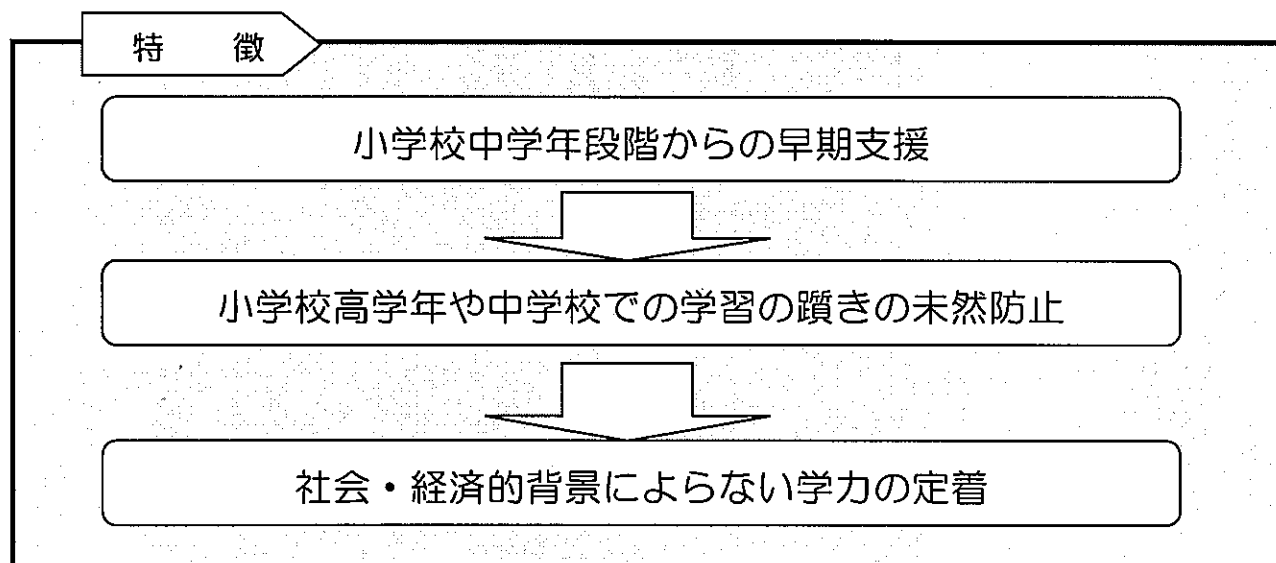
1 趣 旨

家庭の経済状況など、社会・経済的背景に課題を抱える児童の学力の向上を図るため、学校における教育的支援の方法を研究・実践し、その成果を県内に普及する。

2 事業内容

県内10校をモデル校として、学習の躓きへの支援が有効とされる小学校3・4年生に対する授業外の学習支援や特別な教材作成など、教育的支援の方法を研究・実践する。

取組の効果は、県学力・学習状況調査で検証し、成果のあった取組を県内に普及する。



3 平成29年度予算額

5,000千円

世界を動かせ！グローバルリーダー育成プロジェクト

担当 高校教育指導課 教育指導担当
内線 6771

1 趣 旨

米国のトップレベルの大学等への派遣や地球規模の課題に第一線で活躍する講師による講演等を通じて、将来グローバルリーダーとして活躍できる、世界的な視野と豊かな国際感覚を備えた高校生の育成を図る。

2 事業内容

(1) 海外プログラム

県立高校生50人を、米国のトップレベルの大学等へ10日間派遣し、講義の聴講や研究施設の訪問、現地学生との交流等を行う。

(2) 国内プログラム

ア 国内講演会

海外で学ぶ目的や目標を明確にさせるとともに、チャレンジ精神や使命感を高めるため、地球規模の課題に第一線で活躍する講師による講演会を実施する。

イ 英語力向上研修

英語力の向上や課題解決に必要なクリティカルシンキング（批判的思考力）を身に付けることを目的とした集中講義を実施する。

3 平成29年度予算額 31,627千円

持続可能な社会を生きるグローバル人材育成事業

担当 高校教育指導課 教育指導担当
内線 6771

1 趣 旨

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、講演会やボランティア活動を通じ、高校生の豊かな国際感覚、ボランティアマインド、多文化共生の精神等を育成する。

2 事業内容

(1) 県立高校における講演会等の実施

オリンピック・パラリンピックに向けて、県立高校でJICAやNPO等と連携して、参加国に係る講演会や、ワークショップを実施する。

(2) ボランティア体験の推進

JICAやNPOと連携して、国内において国際的なボランティア活動に積極的に取り組む学校を推進校に指定し、支援する。

3 平成29年度予算額 1,811千円

科学技術立県を支える次世代人材育成プロジェクト

担当 高校教育指導課 学びの改革担当
内線 6625

1 趣 旨

将来、科学技術分野で世界に出て活躍しうる人材の育成に向けた体制を整え、高校生のうちから大学や研究機関と連携しながら本格的な研究に打ち込む機会を通じて、高校生の能力・才能の伸長を促す。

2 事業内容

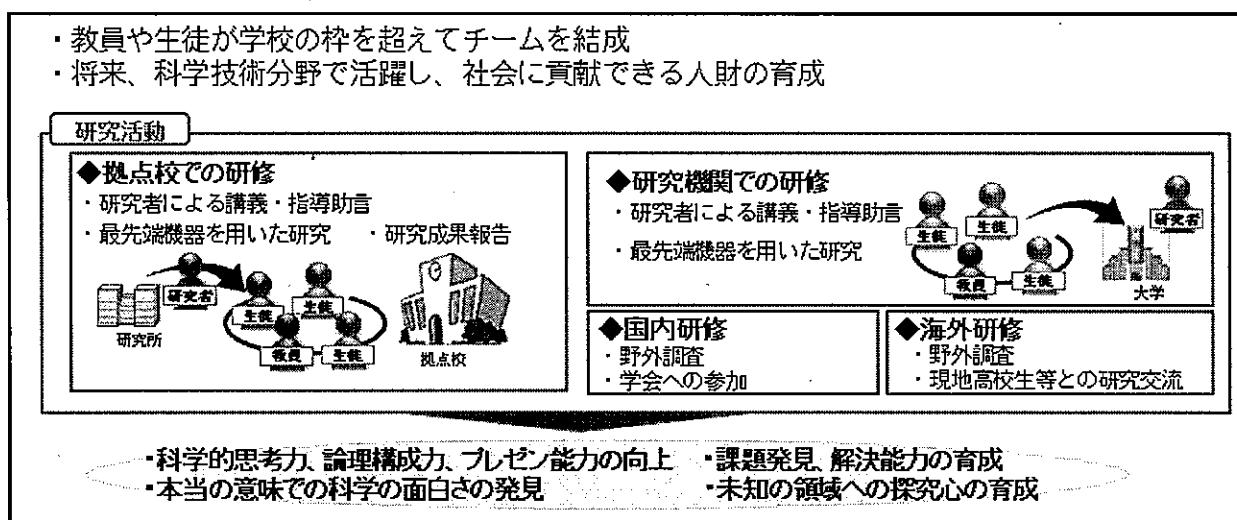
(1) 科学技術イノベーション人材育成事業

県立高校に在学し、理数分野に強い興味関心をもつ生徒に対し、県立高校教員で結成した人材育成プロジェクトチームが、大学や研究機関の協力を得ながら指導を行い、将来世界で活躍する理数系人材の育成を図る。

(2) 科学の甲子園全国大会運営

科学の甲子園全国大会を埼玉県で開催し、中学生・高校生が大会の運営等に関わることで、埼玉県における科学技術人材育成の機運を高揚し、科学技術立県「埼玉」としてイメージアップを図る。

世界で活躍する理数系人材の育成



3 平成29年度予算額

41,220千円

次代を担う産業人材イノベーション事業

担当 高校教育指導課 産業教育担当
内線 6769

1 趣 旨

専門高校や総合学科で学ぶ生徒に、各職業分野のプロによる実践的な指導を実施することで、高度な知識や技能を身に付けさせる。

また、それにより習得した能力を地域振興・創生に役立てる。

2 事業内容

(1) 地域創生イノベーション分野

各学校が、地域の商店街や商工会、企業等と連携し、地域が活性化する取組を支援する。

(2) プロフェッショナル育成分野

各分野（生産力育成・ものづくり力育成・ビジネス力育成・サービス力育成）のプロフェッショナルな指導者からの実践的な指導を通して、専門的な知識や技術・技能の習得を目指す。

3 平成29年度予算額 23,508千円

起業家精神育成事業

担当 高校教育指導課 産業教育担当
内線 6769

1 趣 旨

実在の企業や先人を題材に、生徒自らが感じ、考え、表現する、正解のない課題に取り組むアクティブ・ラーニングを通して、社会や経済、働くことの意義について理解を深め、起業家精神を育成する。

2 事業内容

(1) 若手起業家等による講演会の実施

若くして起業家となった方等を講師に迎え、起業家までの道のりなど、起業するまでの心構えや手順等についての講演会を実施する。

(2) コースによる起業家精神の育成

・「企業探究コース」

実在する企業のインターンを教室で体験し、企業活動の一端に触れながら働くことの意義や経済活動について理解を深めるとともに、実際の企業の新人研修で示された課題、企業から示されたミッションにグループで協働して取り組み、起業家に必要な資質・能力を育成する。

・「進路探究コース」

日本経済新聞のコラム「私の履歴書」を題材に、先人の人生を見つめ、自分の「私の履歴書」を作り、未来を展望する活動を通して、進路探究の意志や視点を育成する。

(3) 埼玉県大会の開催

上記コースの成果発表会を、全国大会クエストカップに繋がる競技会形式で実施し、プレゼンテーション能力や表現力の向上を図る。

3 平成29年度予算額

4,262千円

自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業

担当 特別支援教育課
特別支援学校改革担当
内線 6883

1 趣 旨

インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実を図るとともに、特別支援学校の児童生徒の増加に対応するため、教室環境等の整備を行う。

2 事業内容

(1) 県南部地域特別支援学校（仮称）の設置（設計）

インクルーシブ教育の推進と高校における特別支援教育の充実を図るとともに、県南部地域の特別支援学校に在籍する児童生徒の増加に対応するため、県立戸田翔陽高校の敷地内に、知的障害の生徒を対象とした新たな特別支援学校（高等部）を設置する。

平成29年度は、校舎等を建設するための基本設計を実施する。

- ア 設置場所 : 県立戸田翔陽高校敷地内
- イ 設置学部（学科） : 高等部（普通科）
- ウ 設置規模 : 30教室程度
- エ 開校年月 : 平成33年4月（予定）

(2) 既存特別支援学校の学習環境の整備

児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な支援体制をつくとともに、児童生徒の増加に対応するため、必要備品等の整備を行う。

3 平成29年度予算額 66,369千円

自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業

担当 特別支援教育課
特別支援学校就労支援担当
内線 6891

1 趣 旨

障害のある生徒の自立と社会参加を実現するため、特別支援学校高等部生徒の就労支援を総合的に推進する。

2 事業内容

(1) 障害者雇用の仕組の構築

特別支援学校の一般就労率の向上を図るため、教育委員会が特別支援学校の卒業生を雇用し、一般就労及び障害者雇用の促進に向けた仕組みづくりを実施する。

(2) 企業のニーズを踏まえた職業教育の推進

就労状況の変化に対応し、企業のニーズを踏まえた職業教育を推進する。

ア 3D（3日間）意識向上民間研修を実施

イ 特例子会社幹部等を就職支援アドバイザーとして配置

ウ 卒業生による講演会の開催

(3) 就労可能な企業の情報の収集

関係機関との連携により、生徒の実習及び就労可能な企業の情報を収集する。

ア ハローワーク等との共同職場開拓

イ 企業情報の収集

(4) 企業に向けての理解啓発

企業向けの学校公開を実施し、企業の理解啓発を図る。

(5) 自閉症に特化した就労支援の研究

自閉症の特性を踏まえた教育課程の在り方や就労に向けた支援の在り方についてモデル研究を実施する。

3 平成29年度予算額 85,624千円

いじめ・不登校対策相談事業

担当 生徒指導課

総務・登校支援・中退防止担当

内線 6745

1 趣 旨

いじめ防止対策推進法、子どもの貧困対策の推進に関する法律の趣旨を踏まえ、心理や福祉の専門家であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による教育相談体制を整備する。

また、県立学校におけるいじめによる重大事態に対し調査審議を行うほか、いじめ・非行防止支援員を配置し、各学校に指導・助言を行う。

2 事業内容

(1) 重大事態に関する調査

県立学校におけるいじめによる重大事態に対し、弁護士等の第三者の専門家がいじめの事実関係を調査審議する。

(2) いじめ・非行防止支援員の配置

県教育委員会にいじめ・非行防止支援員を配置し、各学校のいじめ問題等の生徒指導全般に関して指導・助言を行う。

(3) 教育相談体制の充実

ア スクールカウンセラーの配置

- ・さいたま市を除く全公立中学校、各教育事務所、県立高校に配置

イ スクールソーシャルワーカーの配置

- ・さいたま市、川越市、越谷市を除く全ての市町村教育委員会、各教育事務所、県立高校に配置

ウ 高校相談員の配置

エ 精神科医の配置

オ スチューデントサポーターの派遣

カ いじめメール相談の実施

キ 中学校相談員配置市町村への助成

ク 相談員の研修

3 平成29年度予算額

919,916千円

地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業

担当 生徒指導課

総務・登校支援・中退防止担当

内線 6744

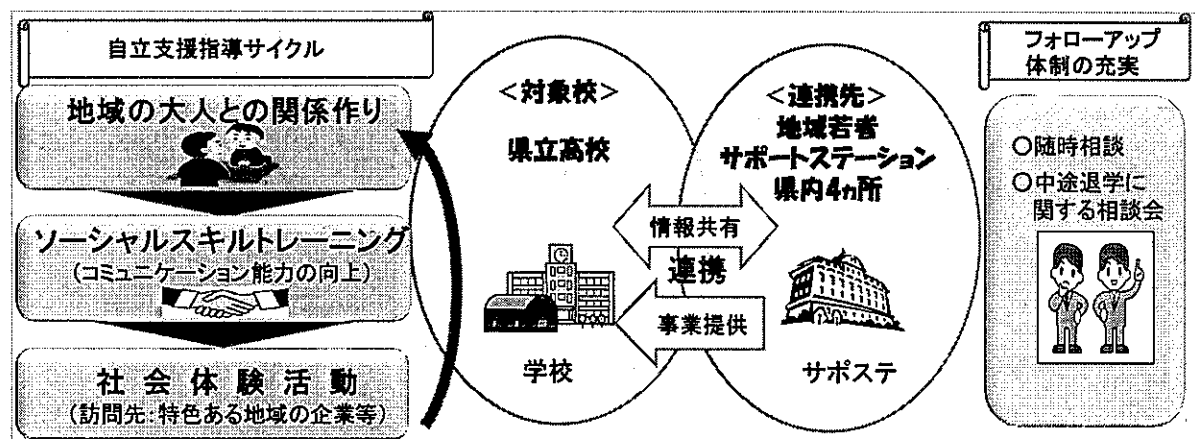
1 趣 旨

「地域若者サポートステーション」と連携して、個人指導や社会的自立を促す取組などの各種事業を実施し、生徒の社会参画や就労を見据えた自立支援教育を推進する。

また、中途退学や卒業後、就業できない生徒に対し、切れ目なく自立支援が継続できる体制を整備する。

2 事業内容

- (1) 地域の多様な人材による個人指導
個人の抱える課題にきめ細かく対応し、円滑な人間関係を築くことができるよう一対一の面談による指導を行う。
- (2) ソーシャルスキルトレーニング
コミュニケーション能力や社会性を育てながら、学校生活への意欲をもつことができるよう、様々な自立支援トレーニングを行う。
- (3) 社会体験活動
社会参画に対する興味・関心を喚起し、自己有用感を醸成できるよう、地域の企業訪問など、社会体験の機会を提供する。
- (4) 中途退学を考えている者等へのフォローアップ体制の充実
 - ア 個人指導をフォローアップするための随時相談
 - イ 中途退学に関する相談会
 - ウ 切れ目ない支援のためのサポートステーションと学校による情報交換会議



3 平成29年度予算額

53,612千円

運動部活動指導充実支援事業

担当 保健体育課 学校体育担当
内線 6947

1 趣 旨

県内公立中学校の運動部に部活動支援員配置等の補助を、県立学校の運動部に外部指導者の派遣及び部活動専用備品の整備を行う。

併せて、全国・関東大会等への派遣費補助等を行い、運動部活動の充実・活性化及び教員の負担軽減を図る。

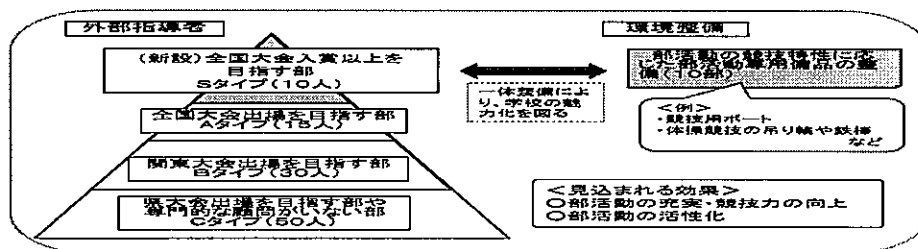
2 事業内容

(1) 運動部活動支援員活用事業

教員の負担軽減や運動部活動の活性化を図るため、単独での指導や大会等への引率が可能な「運動部活動支援員」を中学校に配置する市に対して、補助金を交付し取組を支援する。

(2) 【一部新規】県立学校運動部活動サポート事業

運動部活動の充実・活性化を図るため、県立学校の運動部活動に専門的指導力を備えた外部指導者の派遣及び部活動専用備品の整備を行う。



(3) 中学校スポーツエキスパート活用事業

中学校運動部への外部指導者派遣を行う市町村に補助金を交付し、運動部活動の充実や活性化を図る。

(4) 運動部活動指導者研修事業

運動部活動指導者講習会及び登山指導者講習会を実施し、講義及び実技指導を通して、効果的な部活動指導の在り方や事故防止、体罰防止等について周知し、教員の資質向上を図る。

(5) 中・高・特体育連盟関連経費

本県で開催される全国・関東大会の開催費の補助を行う。

(6) 全国・関東大会（中・高・特体連）への派遣費補助

全国・関東大会へ出場する中・高・特別支援学校生に対して、派遣費の補助を行い、大会出場に係わる経費負担を軽減する。

3 平成29年度予算額 83,810千円

魅力ある県立学校づくり推進費

担当 魅力ある高校づくり課
県立学校人事課 総務担当
内線 6902・6730

1 趣 旨

社会状況の変化や、生徒・保護者のニーズに対応した特色ある学校づくりを進め、県立学校の魅力を更に高めるための取組を推進する。

2 事業内容

(1) 魅力ある県立学校づくり推進費

県立学校の活性化・特色化を推進するため、「魅力ある県立学校づくりの方針」に基づき、各学校の魅力を広く発信するとともに、社会のニーズに対応した教育環境の整備についての検討などを引き続き行う。

(2) スーパーキャリアハイスクール設置検討費

高度な知識・技能を身に付けた専門的職業人の育成に向け、地元企業や研究機関などと連携して先進的な取組を行うとともに、大学など高等教育機関への進路選択も実現し、継続して専門性を深めていくことができる専門高校拠点校（「スーパーキャリアハイスクール」）の設置に向けた検討を行う。

(3) 県立高校通学環境整備検討事業

地域の実情を踏まえ、県立高校への通学の安全性と利便性を向上させるよう、環境整備に向けた検討を行う。

3 平成29年度予算額 1,785千円

未来を拓く学校づくり推進事業

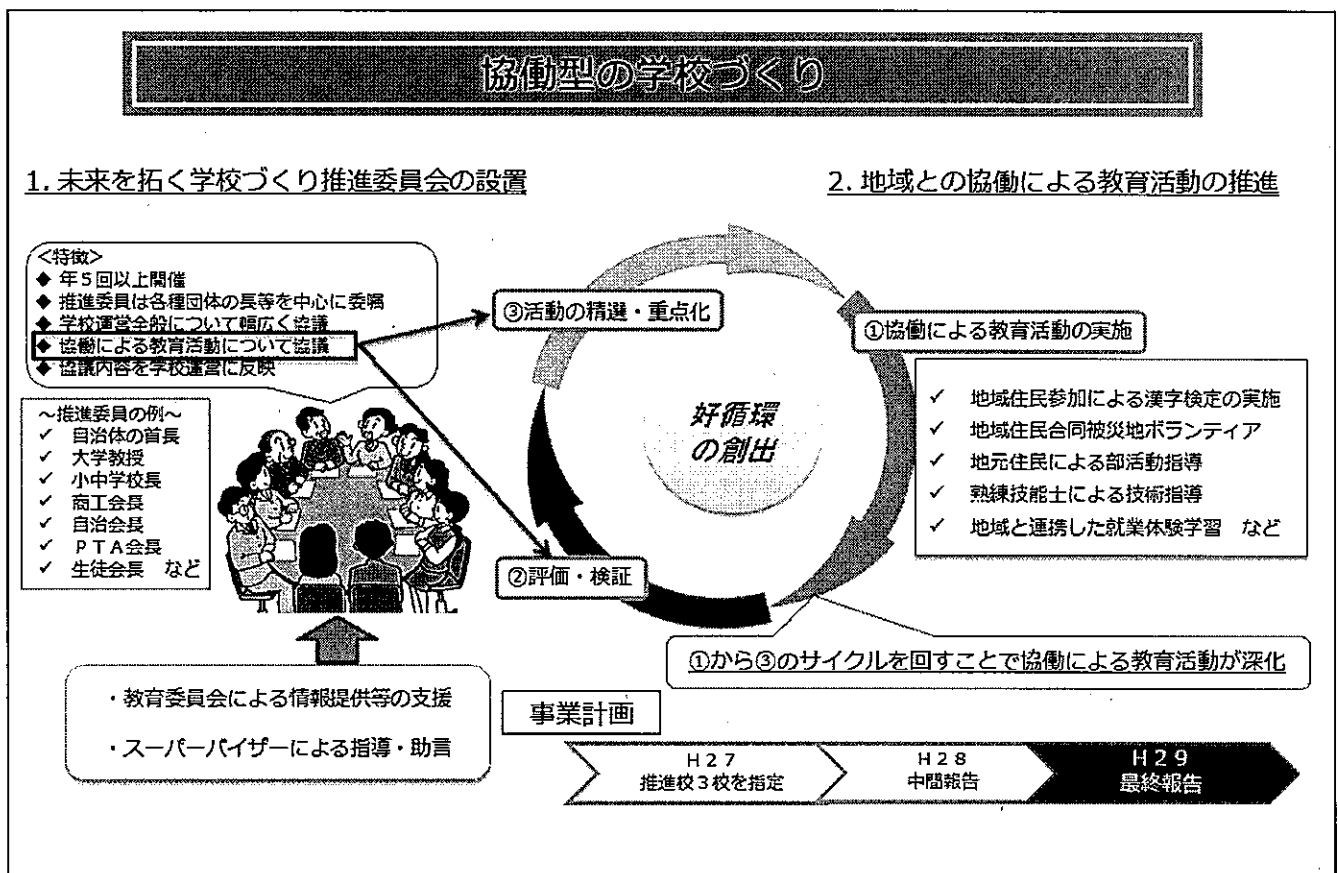
担当 県立学校人事課
 学校・人事評価担当
 内線 6712

1 趣 旨

地域の期待に応える学校運営と地域の資源を生かした教育活動の実現を図るため、県立学校3校を研究推進校として指定し、学校と保護者・地域住民などの共助体制による新しい協働型の学校づくりを推進する。

2 事業内容

- (1) 保護者・地域住民などが学校運営に参画する新たな仕組みの構築
 未来を拓く学校づくり推進委員会を設置し、保護者・地域住民などの参画による協働型の学校運営を推進する。
- (2) 保護者・地域住民などとの協働による教育活動の推進
 未来を拓く学校づくり推進委員会での協議を踏まえ、地域の資源・教育力などを生かした学校支援及び学校を核にした地域づくりを推進する。



3 平成29年度予算額

2,557千円

コミュニティ・スクール導入等促進事業

担当 小中学校人事課 人事・学事担当
内線 6937

1 趣 旨

地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校」へと転換していくことが求められており、地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールは有効な手段である。

コミュニティ・スクールの推進を図るために、国の事業を活用して、市町村教育委員会に補助金を交付するとともに、市町村教育委員会、教職員、地域の学校関係者等を対象とした研修会やフォーラムを実施する。

2 事業内容

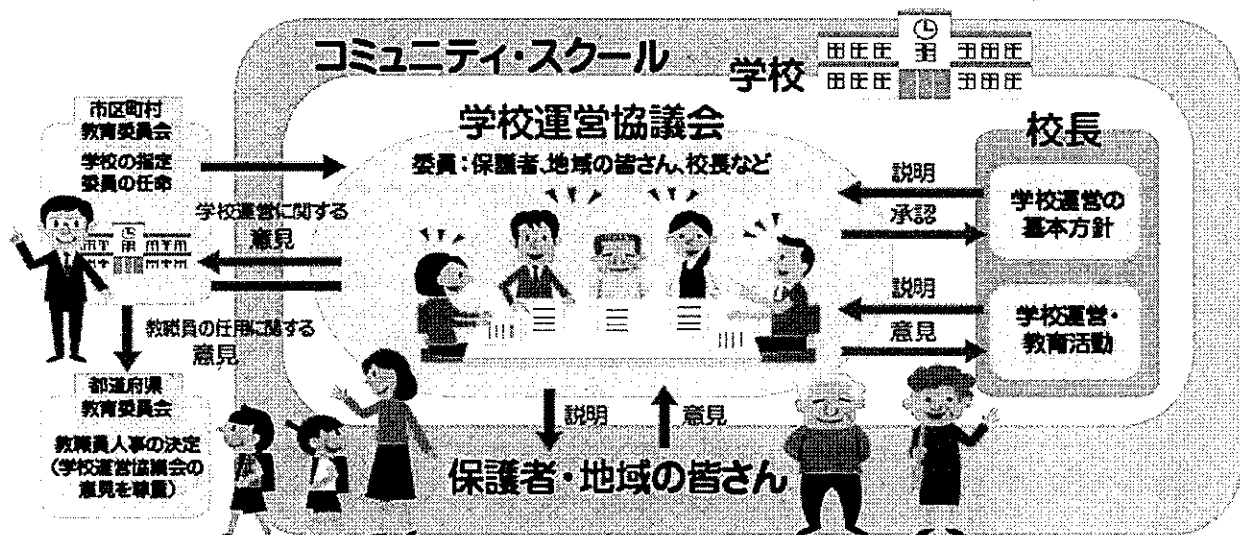
(1) 市町村教育委員会への補助金の交付

市町村教育委員会においてコミュニティ・スクールの推進を図るため、補助金を交付する。

(2) 県による研修会等の実施

市町村教育委員会の担当者を対象とした研修会を実施する。

市町村教育委員会の担当者、教職員、地域の学校関係者等を対象としたフォーラムを実施する。



3 平成29年度予算額

11,305千円

埼玉県高等学校等奨学金事業

担当 財務課 授業料・奨学金担当
内線 6652

1 趣 旨

経済的理由により修学が困難な高校生等に対して奨学金を貸与することにより、修学を支援するとともに、有為な人材の育成に資する。

2 事業内容

(1) 奨学金制度の概要

ア 奨学金貸与の対象者

修学意欲があり、かつ、経済的理由により修学が困難な生徒

イ 貸与額

・国公立	入学一時金	100,000円以内
	月額奨学金	25,000円以内
・私立	入学一時金	250,000円以内
	月額奨学金	40,000円以内

ウ 貸与枠

平成29年度在校生向け	5,700人
平成30年度入学生向け	1,800人

(2) 本県奨学金制度の主な特徴

ア 無利子による貸与

イ 新入生への入学前貸与

ウ 金融機関と連携した貸与や債権管理

エ 返還者の傷病や経済的理由などに配慮したきめ細かな返還猶予

3 平成29年度予算額 618,467千円

家庭教育支援推進事業

担当 家庭地域連携課

幼児教育・家庭教育支援担当

内線 6972

1 趣 旨

家庭の教育力の向上を図るため、中学生や高校生を対象とした「親になるための学習」及び親を対象とした「親が親として育ち力をつけるための学習」を推進するとともに、子育てに関する不安や悩みを持つ親への支援を行う。

さらに、家庭における子供たちの学習習慣を促進するため、保護者を対象とした「埼玉県家庭学習支援プログラム集」を活用し、家庭と連携して子供たちの学習意欲の向上を図る。

2 事業内容

(1) 埼玉県家庭教育アドバイザー養成事業

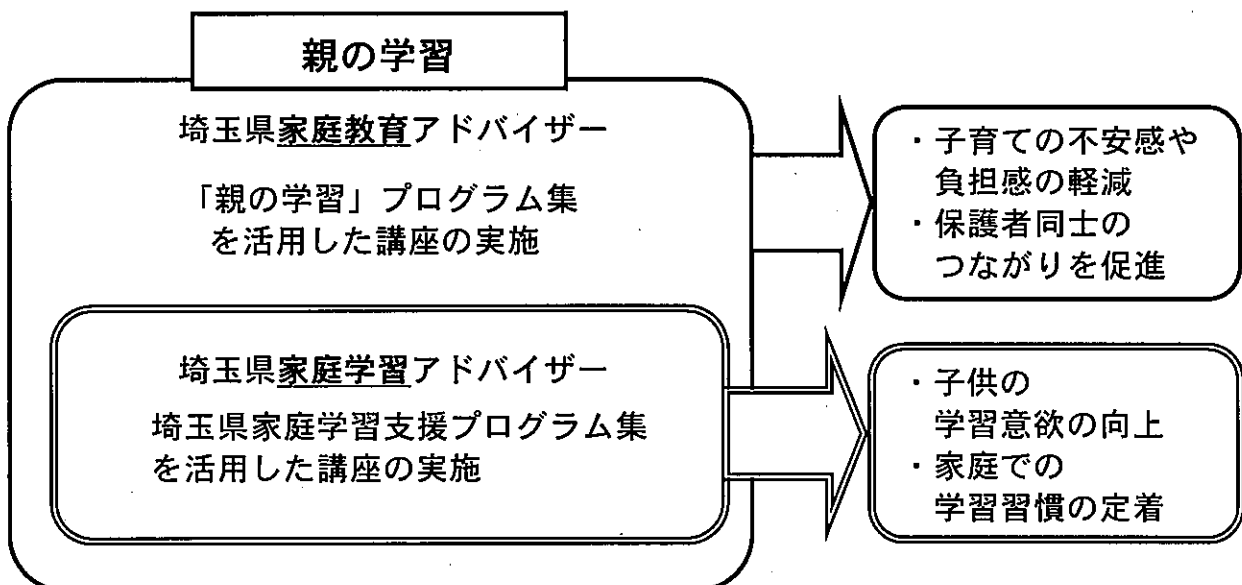
- ・埼玉県家庭教育アドバイザー養成研修の実施
- ・養成した埼玉県家庭教育アドバイザーの指導力向上を図る研修の実施

(2) 埼玉県家庭教育アドバイザー派遣事業

- ・各学校、保育所、公民館などの「親の学習」講座等の指導者として、埼玉県家庭教育アドバイザーを派遣

(3) 家庭における学習支援事業

- ・「埼玉県家庭学習支援プログラム集」を活用した「親の学習」講座等の指導者となる埼玉県家庭学習アドバイザーを養成、派遣



3 平成29年度予算額 3,499千円

生涯学習を担う未来人材育成プロジェクト

担当 生涯学習文化財課
生涯学習・社会教育担当
内線 6914

1 趣 旨

大学やNPO、企業、市町村などが連携して実施する子ども大学の組織と内容を充実させるため、モデル事業を実施する子ども大学への支援を行う。

その成果を各市町村に広めるとともに、各地域の子ども大学の継続・発展を支援することを通じて、生涯学習を担う人材の育成につなげる。

2 事業内容

(1) 子ども大学推進モデル事業実施の支援

ア 異年齢交流モデル事業

- ・コミュニケーション能力を高めることをねらいとし、中高生まで参加対象を広げ、中高生が運営にも携わる子ども大学を支援する。

イ 【新規】外国人交流モデル事業

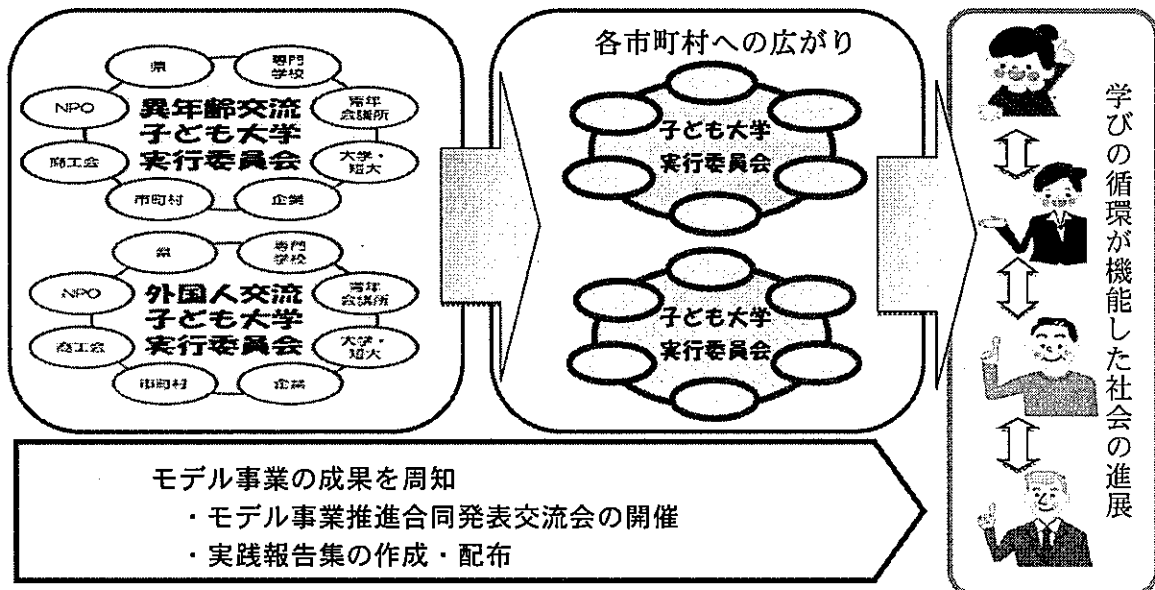
- ・地域の特性を生かし、異文化を理解するとともにコミュニケーション能力を高めることをねらいとし、外国人と交流する子ども大学を支援する。

ウ 【新規】モデル事業推進合同発表交流会

- ・モデル事業の成果を広く周知するための合同発表交流会を開催する。

(2) 【新規】子ども大学継続支援事業の実施

- ・子ども大学の表彰を行うなど、子ども大学の継続・発展を支援する。



3 平成29年度予算額

2,822千円

オリパラおもてなしミュージアム

担当 生涯学習文化財課
文化財活用・博物館担当
内線 6914

1 趣 旨

東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップを契機として、国内外からの来訪者に対する県立美術館・博物館の「おもてなし環境」を整備し、埼玉の魅力を世界に発信するとともに、郷土や我が国の歴史・文化を誇りに思う心を醸成する。

2 事業内容

6つの県立美術館・博物館で、展示や体験プログラムのための資料や施設設備の整備・改修等を実施する6本の事業。

- (1) 歴史と民俗の博物館（さいたま市大宮区）
「一挙公開！よみがえる至宝－太平記絵巻の美－」
名宝「太平記絵巻」を公開するための修復
- (2) さきたま史跡の博物館（行田市）
「来て、見て、触って！古墳の世界－豪族の時代－」
埼玉古墳群や古代埼玉の魅力を発信するための環境整備
- (3) 嵐山史跡の博物館（嵐山町）
「サムライ体験in嵐山～城跡で武将と姫に大変身～」
中世埼玉の城と武士の魅力を発信するための環境整備
- (4) 近代美術館（さいたま市浦和区）
「埼玉アート！北浦和から未来へ発信事業」
北浦和公園入口の改修
- (5) 川の博物館（寄居町）
「発信!!「川の国」～水車と大模型に学ぶ川と人のくらし～」
日本有数の屋外展示の魅力を発信するための改修
- (6) 自然の博物館（長瀨町）
「国指定天然記念物の魅力発信とジオパーク秩父の活用事業」
天然記念物に係る新コーナーの設置、案内看板設置等

3 平成29年度予算額 6館（6事業）の合計 127,084千円

教育局条例定数一覧

(単位:人)

区分	平成29年度	平成28年度	増 減	主な増減理由
事務局	726	726	0	
小学校	17,411	20,500	△3,089	さいたま市の教職員が 県費負担教職員から 除外されたこと等に伴う減
中学校	10,230	12,149	△1,919	さいたま市の教職員が 県費負担教職員から 除外されたこと等に伴う減
高等学校	9,670	9,659	11	収容定員の変動等に伴う増
特別支援 学校	4,441	4,365	76	児童生徒数の増加に伴う増
計	42,478	47,399	△4,921	